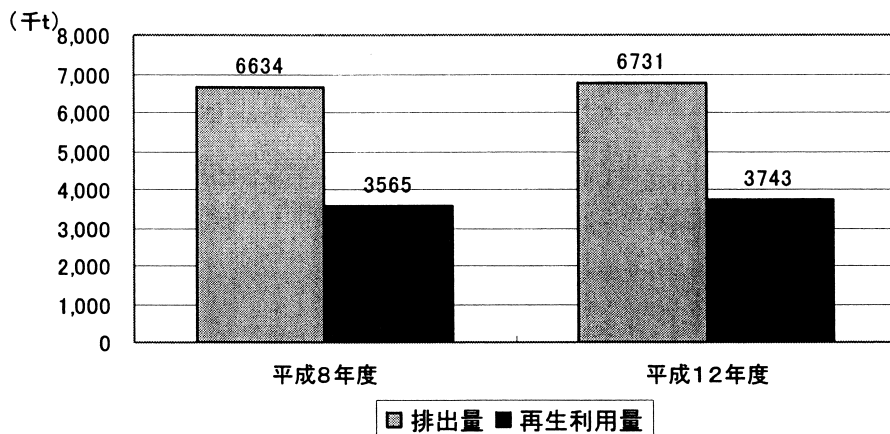


2 産業廃棄物の再生利用の状況

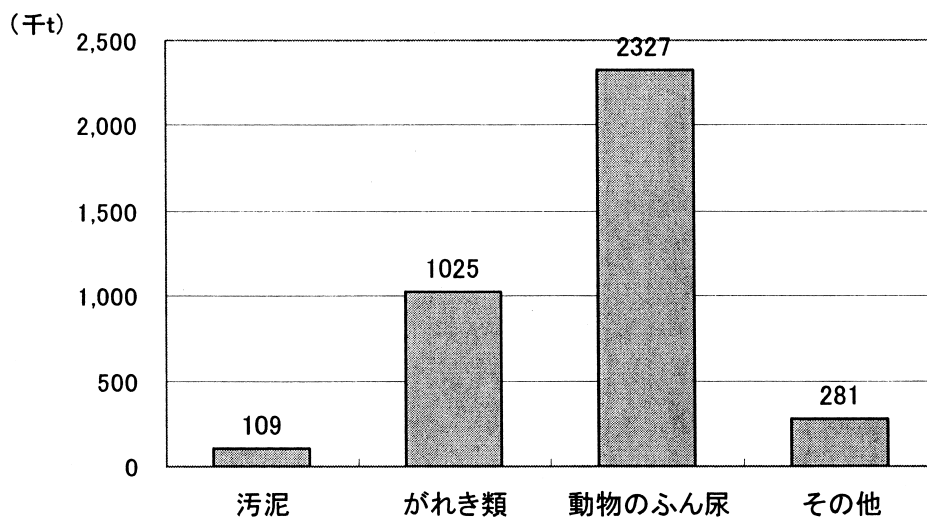
平成 1 2 年度の再生利用量は、3, 7 4 3 千 t (再生利用率 5 6 %) で、前回調査 (平成 8 年度) と比較すると、量で 1 7 8 千 t 増加し、再生利用率も 2 ポイント上昇しています。なお、全国平均 (平成 9 年度 4 1 %) と比較して高くなっています。

(図 2 - 1 8) 再生利用量の推移



種類別の再生利用状況では、動物のふん尿が 2, 3 2 7 千 t (再生利用率 8 1 %) で最も多く、以下、がれき類が 1, 0 2 5 千 t (同 7 8 %)、汚泥が 1 0 9 千 t (同 6 %) となっています。

(図 2 - 1 9) 種類別再生利用状況 (平成 1 2 年度)



業種別の再生利用状況では、農業における再生利用量が 2, 3 4 5 千 t (再生利用率 8 1 %) で最も多く、以下、建設業が 1, 0 4 3 千 t (同 7 3 %)、製造業が 3 3 1 千 t (同 2 1 %) となっています。

3 産業廃棄物の将来予測

(1) 将来予測の方法